

腰痛調書《A面》

被災職員	所属	県立〇〇病院	職名	看護師	氏名	藤島 吾郎 生年 昭和59年3月7日
	身長	170・8cm	体重	65・9kg	体格	肥満体 <b>普通</b> 細身体
災害発生の状況	概要 入院患者さんのシーツを交換するため、新しい医シーツをリネン室に取りに行ったときダンボールがつかれ、ドアをふさいでいたのでよけようとした。はじめの一箱が軽かったのでわきによけ、二箱目同様だと思い、持ち上げたところ非常に重く、腰を捻った状態であったこともあり、腰に激痛があった。					
	その際の姿勢 足をのぼしたまま、腰を60度くらい前に倒した状態で、持ち上げながらわきによけるために腰を捻った状態だった。					
	負担部等にかかった	取り扱ったもの ダンボール				
		重量	50 kg	大きさ(単位:cm)	縦:45 横:60 高さ:45	材質 ダンボール(紙)
その他参考事項						
治療状況	診断名	腰部捻挫			医療機関名	〇〇病院
	治療期間	令和5年1月7日から 令和5年1月16日まで・継続中			入通院の別	入院・ <b>通院</b> (休暇中・就業)
等前疾3患年歴腰部	発病年月日	傷病名 持になし			治療期間	公務上外の別
上記のとおり相違ありません。 令和5年 1月20日 被災職員 藤島 吾郎 所属長 県立〇〇病院長 長井 拓也						

※ この調書の添付資料として、共済組合からの既往歴の証明書を添付すること。

B面は医師から記載してもらってください。

公務災害腰痛等関係調査表（医学的所見） 《B面》

氏名	藤島 吾郎	初診日	令和5年 1月 7日
傷病名	腰部捻挫	療養 (見込み) 期間	10 日 週 間 月
自覚 症状	可動時に腰部から下肢にかけて疼痛を訴える。		
主治 医 所 見	MRI、レントゲン検査結果等 L4/5、5/6に加齢による狭小化が認められる。		
	所 見 右下肢拳上テスト陽性 右アキレス腱反射（-）		
発 症 原 因	1 A面記載の動作に起因する災害性のものと認める。		
	2 被災職員の素因又は既存基礎疾患が認められるが、A面記載の動作がなければ、発症しなかったと認める。		
	3 被災職員の素因又は既存基礎疾患が認められ、A面記載の動作に関係なく発症したものと認める。		
	4 その他 ( )		
	※素因又は基礎疾患についてご記入願います。		
上記のとおり証明します。 地方公務員災害補償基金山形県支部長 殿 令和5年 1月 21日			
	所在地	〇〇市〇〇町31-1	
医療機関	名称	県立〇〇病院	
	担当医師名	羽黒 六郎	
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	